第１３課　ヨブの品性

【暗唱聖句】

「アブラハムの信仰がその行いと共に働き、信仰が行いによって完成されたことが、これで分かるでしょう」ヤコブ2:22

【今週のテーマ】

ヨブはいったいどのような人物だったのかを知ることで、私たちも主に忠実に生きることのヒントを学びます。

【日曜日　ウツ出身の人】

「ウツの地にヨブという人がいた。無垢な正しい人で、神を畏れ、悪を避けて生きていた」ヨブ1:1

主はサタンに言われた。「お前はわたしの僕ヨブに気づいたか。地上に彼ほどの者はいまい。無垢な正しい人で、神を畏れ、悪を避けて生きている。」ヨブ1:8

ヨブがサタンの標的にされたのは、友人たちが主張したように彼が何か悪いことをしていたからではなく、逆に彼が悪いことをしない、主に忠実な正しい者だったからです。サタンは真の神の子に敵対する者なのです。

ヨブの特徴

①無垢

ヘブライ語のタム（無垢）は、ギリシャ語ではテレイオス（完全）という意味に訳されていますが、これは罪がないということではなく、相対的な意味において神が期待しておられる状態にある、十分に成熟しているという意味です。

②正しい

正しいと訳されている言葉は、まっすぐ、一貫した、公正なという意味があります。

③神を畏れた

④悪を避けた

これらの特徴を神をよくご存じで、それを高く評価していました。

【月曜日　乳脂はそれで足を洗えるほど豊か】

「乳脂はそれで足を洗えるほど豊かで、わたしのためにはオリーブ油が岩からすら流れ出た」ヨブ29:6

ヨブは過去を振り返ったとき、いかに神に祝福されていたかということが思い出されました。周りの人たちもヨブに敬意を示し、高く評価されていました。それはヨブが多くの人たちを助け、多くの人たちのために生きていたからです。

①「身寄りのない子らを助け」②「求める貧しい人々を守った」③「やもめの心を生き返らせた」④「正義を衣とし」⑤「見えない人の目となり」⑥「歩けない人の足となった」⑦「貧しい人々の父となり」⑧「かかわりのない訴訟にも尽力した」⑨「不正を行う者の牙を砕き、その歯にかかった人々を奪い返した」

これらの聖句から、ヨブがどのように生きていたかがわかります。

【火曜日　心と目】

ヨブ記31章でもヨブは過去を振り返り、どのような人生を歩んできたかを語っています。それはヨブは自分を誇り、自慢したかったわけではなく、苦難の原因が悪い行い、罪の結果ではないということをもう一度冷静に思い返しているのです。

「わたしの歩みが道を外れ、目の向くままに心が動いたことは、決してない。この手には、決して汚れはない」ヨブ記31:7

この言葉から、ヨブは実際の行動だけでなく、心や思いにも注意を払っていたことがわかります。これはイエス様の教えとも一致しています。さらに次の聖句からヨブは奴隷であってもすべての人を平等に見ていたことがわかります。

「わたしが奴隷たちの言い分を聞かず、はしための権利を拒んだことは、決してない・・・わたしを胎内に造ってくださった方が彼らをもお造りになり、我々は同じ方によって母の胎に置かれたのだから」ヨブ記31:13～15。

【水曜日　岩の上の家】

ヨブ記３１：２４～３４を見ると、いかにヨブが神様に対して忠実に生きてきたかが書かれてあります。

「わたしが黄金を頼みとし純金があれば安心だと思い、財宝の多いことを喜び、自分の力を強大だと思ったことは、決してない。太陽の輝き、満ち欠ける月を仰いでひそかに心を迷わせ、口づけを投げたことは、決してない。もしあるというならこれもまた、裁かれるべき罪である。天にいます神を否んだことになるのだから」31:24～28

ヨブが苦難の中にあっても神様を呪うことをしなかったのは偶然ではありません。これまで神様に忠実に生きてきたことが、ヨブを支えていたのです。

ある教会の姉妹が、息子さんがいじめにあい、悩んでいたことがありました。近所の人は教会など行くからいじめに会うと、同情ではなく、批判され、それによってなお一層苦しめられました。しかし、姉妹は後に、こう言っていました。神様を信じるからいじめなど不幸に会うのだと言われたけれど、神様を信じていたからこそ、この試練に耐えることができたと。

「そこで、わたしのこれらの言葉を聞いて行う者は皆、岩の上に自分の家を建てた賢い人に似ている。雨が降り、川があふれ、風が吹いてその家を襲っても、倒れなかった。岩を土台としていたからである」マタイ7:24，25

ヨブがこの激しい試練に耐えられたのは、み言葉に忠実に生き、岩を土台としていたからです。小さな勝利の積み重ねが大きな試練への備えとなっていったのです。

【木曜日　神の多種多様な知恵】

ヨブが神様に対して忠実に生きたことは神様の喜びであり、栄光でした。

「そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである」マタイ5:16

サタンはもしヨブが試練に会えば、神を呪うだろうと言い、神様はヨブは自分を呪うことはしないと信じました。結果的にヨブは神様を呪うことをしなかったわけですが、これによって悪魔の主張は退けられていき、神様は栄光を受けることになりました。同じことが、わたしたちの人生の上にも、特にこの終末時代に生きている私たちの上にも起きてくるのかもしれません。

「その（神の）栄光をたたえなさい」黙示録14:7

わたしたちにいかなる試練が訪れようとも、それでもなお神様を呪うことをせず、忠実であるとき、サタンは敗北し、神様は栄光をお受けになるのです。

「こうして、いろいろの働きをする神の知恵は、今や教会によって、天上の支配や権威に知らされるようになった」エペソ3:10

神様は一人ひとりの人生に特別な計画を持っておられます。それは人知を超えた神様の知恵に満ちており、地上のものだけでなく、天に属するものにまで驚きをもって見ています。ヨブの一連の出来事に関しても、ヨブだけでなく、全宇宙的規模で注目されていたのでしょう。